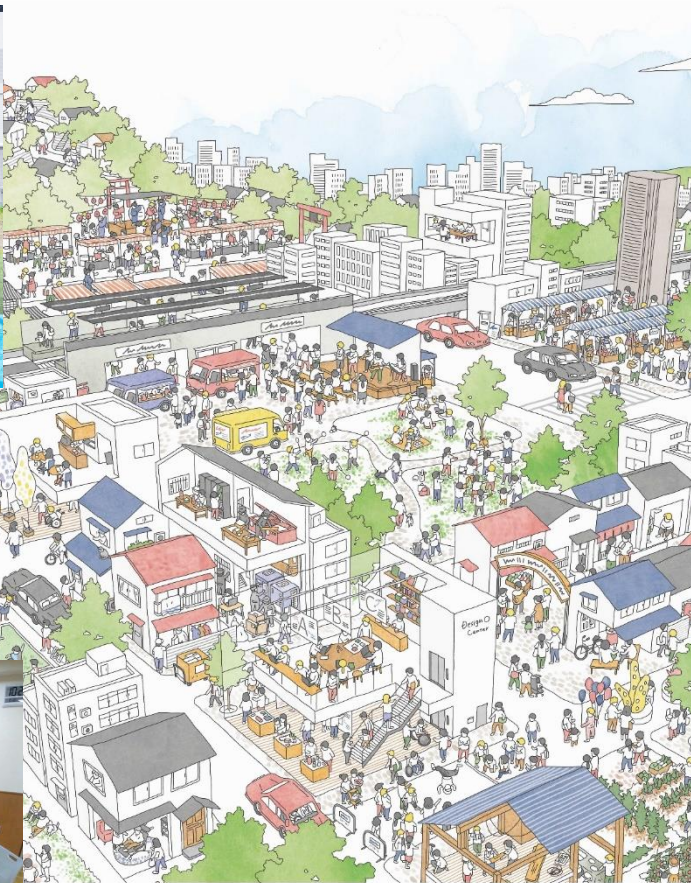


令和4年度「まちのひろば」創出 職員プロジェクトチーム全体報告





これからの コミュニティ施策の基本的 考え方

2019年3月策定

「市民創発」による

持続可能な暮らしやすい地域を実現
する施策の方向性を示す

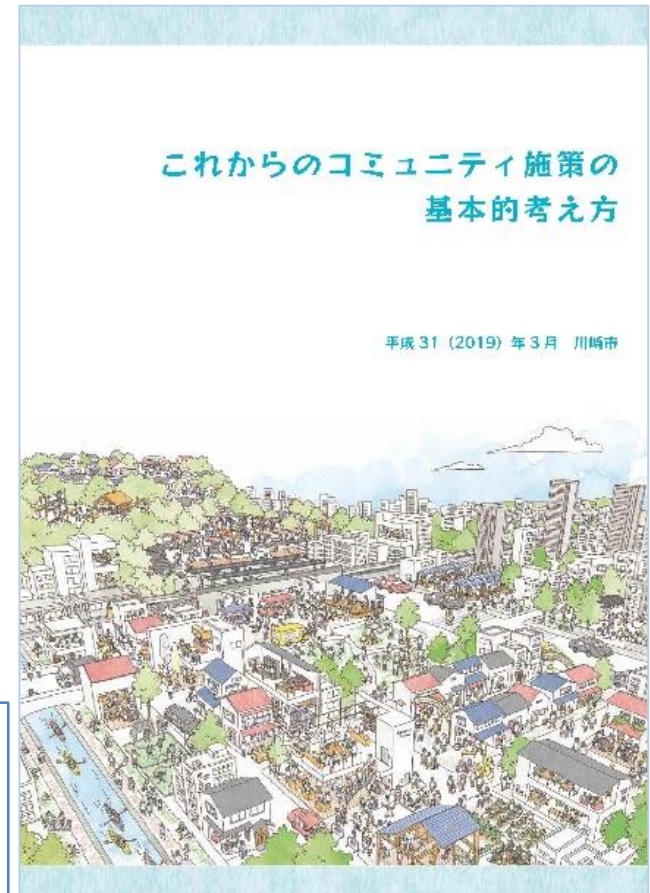
～主な取組～

- 地域レベル

地域の居場所「まちのひろば」の創出

- 区域レベル

区域の「ソーシャルデザインセンター」の創出 等





地域レベルの取組 まちのひろばの創出

～「基本的考え方」から抜粋～

マルシェ

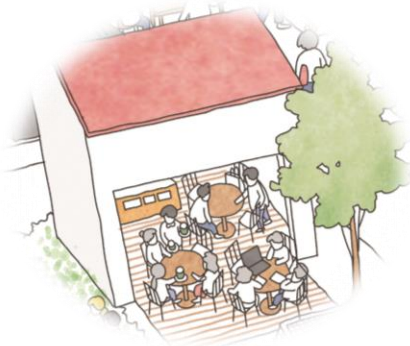


防災訓練



誰もが気軽に集える出会いの場として、
官民問わず、多様な地域資源を活用して、
「まちのひろば」 を創出

こども食堂



健康体操



DIY



目的

- ・「まちのひろば」のモデル実施と
機運醸成
- ・地域に出て現場感やコーディネート
スキル向上を目指した人材育成

これまでの取組



- 防災空地で地域交流
「小田らんたん横丁」



- N E C 公開空地のプロジェクト



- ロビーを活用したイベント
～複合施設の多世代交流～



7月 第1回集合研修

- ・参加メンバー14名
- ・オブザーバー4名
- ・サポートメンバー6名 で活動開始。





全体の流れ

- ・ 第1回集合研修
(企画づくりのポイントを学ぶ)
- ・ フィールドワーク
(企画立案とブラッシュアップ)
- ・ 第2回集合研修
(中間報告、ブラッシュアップ)
- ・ フィールドワーク
(まちのひろば創出の実践)
- ・ 第3回集合研修
(活動の振り返り)

7月 第1回集合研修

- ・参加メンバー14名
- ・オブザーバー4名
- ・サポートメンバー6名 で活動開始。



7～9月 ヒアリングや現地視察

客観（定量的）と実感（定性的）の両方からまちの課題を立体的に把握する。

客観

統計データの分析・
活用

地区カルテ
（基礎活力、少子化度、高齢
化度、コミュニティ度等）



実感

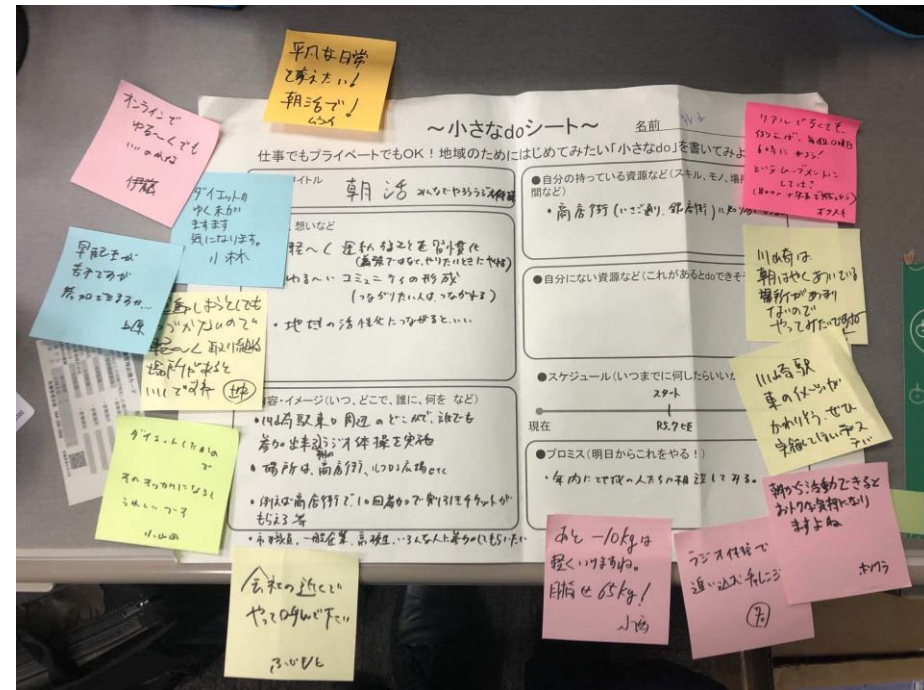
市民の生活実感・
職員の職務上の実感





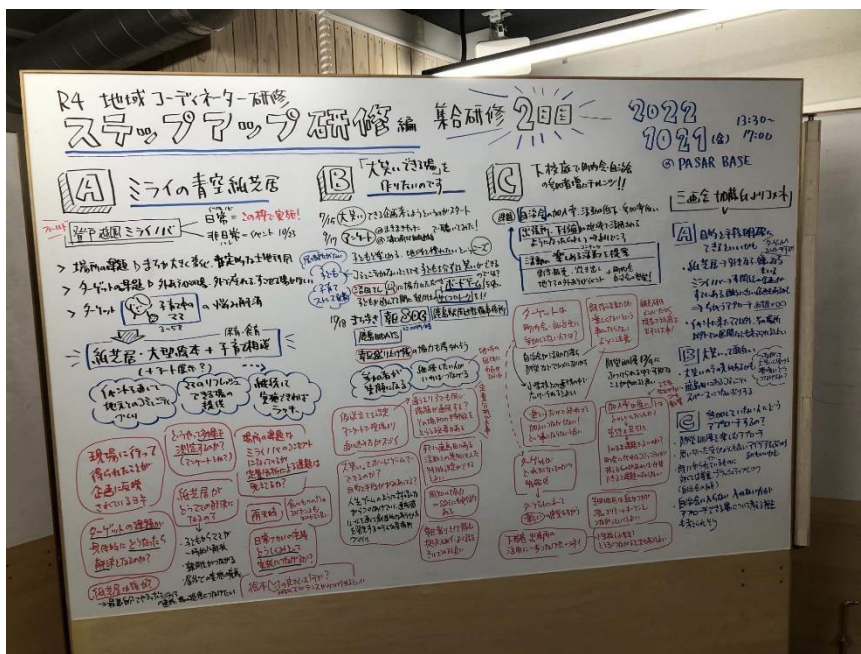
10月 オフサイトミーティング

- ・メンバーの地域活動（小さなDoシート）
- ・メンバー間やサポートメンバーとの交流



10月 第2回集合研修

- ・ これまでの活動の振り返り
- ・ 別グループやアドバイザーからのアドバイス



各チームの取組

グループA

ミライの青空紙芝居

登戸・向ヶ丘遊園区画整理地域において、こどもの遊び場不足解消やママたちの交流の創出を目的に区画整理地未利用地を活用したミライノバを活用した紙芝居を開催。紙芝居には地域で活動する市民団体と連携した。



各チームの取組

グループB

テーブルゲーム みんな集合！

鹿島田の民間施設にて小学生とその保護者をターゲットにワークショップを開催。イベント開催に至るまでには地域の市民活動団体や民間等と連携・協力。転入世帯が多い地域で笑いながら交流する場を創出した



各チームの取組

グループC

生田地区防災訓練との連携

生田地域の町内会が実施する防災訓練と連携をし、防災グッズの配布や市民活動団体による絵本読み聞かせ等を行った。魅力的なイベントにすることで、町内会未加入者への当日イベント参加を促進する等新たな交流を創出した。





YouTubeで活動情報を発信

職員3名のチャレンジ



まちのひろば創出職員プロジェクト

(昨年) 川崎市コミュニティチャンネル

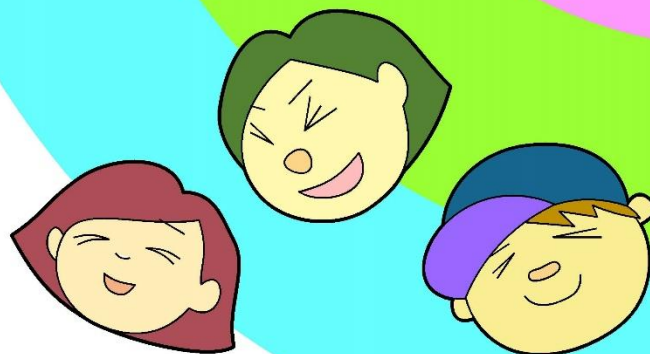


QRコード



撮影時の様子

川崎市 コミュニティ チャンネル はじめました。



YouTube



わかりやすく楽しい動画配信中!

インスタも。